

東北地方 1 か月予報

(2 月 1 5 日から 3 月 1 4 日までの天候見通し)

平成 1 5 年 2 月 1 4 日

仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

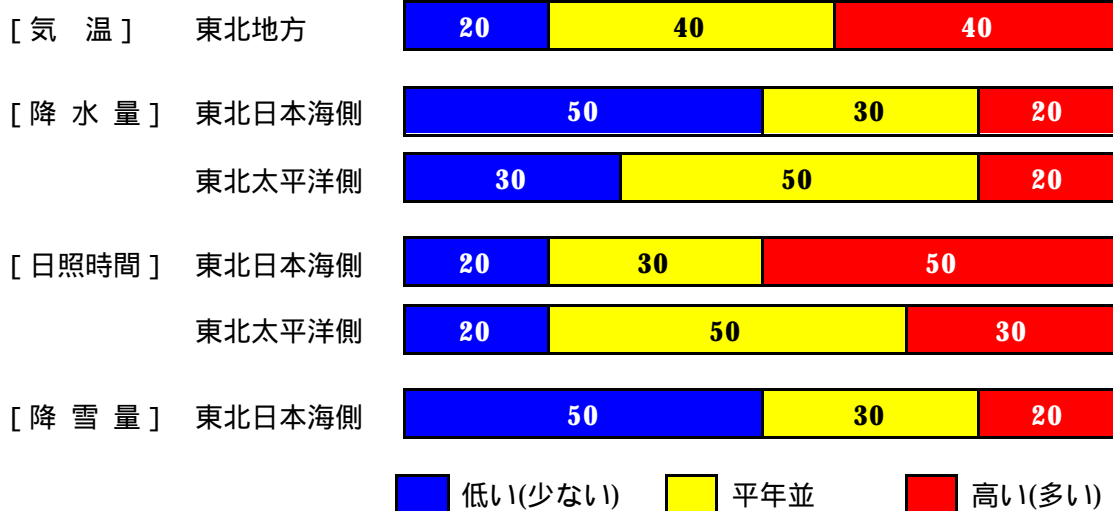
向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は概ね周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。
東北日本海側は平年より晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

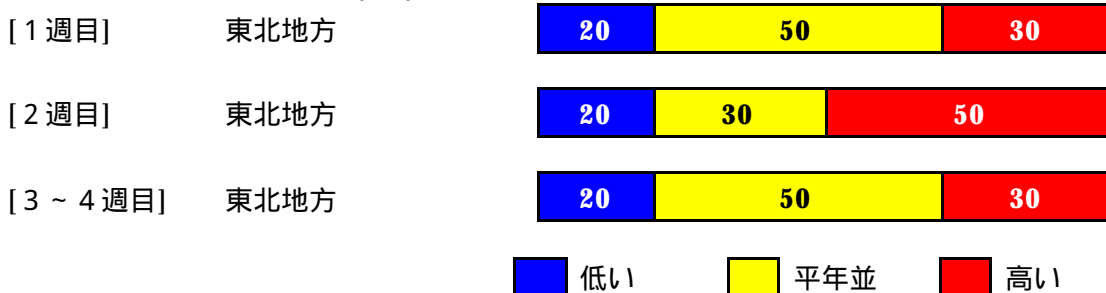
向こう 1 か月の気温は平年並か高い、降水量は東北日本海側は少なく、東北太平洋側は平年並、日照時間は東北日本海側は多く、東北太平洋側は平年並、東北日本海側の降雪量は少ないでしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並、2 週目は高い、3 ~ 4 週目は平年並の見込みです。

< 向こう 1 か月の気温，降水量，日照時間，降雪量の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 2 月 1 5 日 (土) ~ 3 月 1 4 日 (金)
 1 週目 : 2 月 1 5 日 (土) ~ 2 月 2 1 日 (金)
 2 週目 : 2 月 2 2 日 (土) ~ 2 月 2 8 日 (金)
 3 ~ 4 週目 : 3 月 1 日 (土) ~ 3 月 1 4 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 2 月 2 1 日
 3 か月予報 : 2 月 2 0 日 (木) 1 4 時 0 0 分
 暖候期予報 : 3 月 1 0 日 (月) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温，降水量，日照時間，降雪量と 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の平均気温）

| | 気 温 () | 降 水 量 (mm) | 日照時間 (時間) | 降 雪 量 (cm) | 気 温 () | | |
|-----|------------|---------------|--------------|---------------|---------|------|----------|
| | | | | | 1 週目 | 2 週目 | 3 ～ 4 週目 |
| 大船渡 | 1.9 | 61.8 | 145.5 | 13 | 1.1 | 1.5 | 2.4 |
| 新庄 | 0.2 | 117.9 | 78.4 | ----- | -0.8 | -0.2 | 0.9 |
| 若松 | 0.9 | 61.2 | 110.3 | 79 | -0.2 | 0.4 | 1.6 |
| 深浦 | 0.8 | 71.2 | 71.9 | 42 | -0.1 | 0.5 | 1.5 |
| 青森 | 0.1 | 85.1 | 97.3 | 131 | -1.0 | -0.3 | 0.8 |
| むつ | -0.4 | 75.5 | 113.9 | ----- | -1.4 | -0.7 | 0.2 |
| 八戸 | 0.3 | 45.5 | 142.9 | 44 | -0.7 | -0.1 | 1.0 |
| 秋田 | 1.3 | 87.6 | 88.9 | 54 | 0.3 | 0.9 | 2.0 |
| 盛岡 | -0.2 | 60.0 | 139.1 | 45 | -1.4 | -0.7 | 0.5 |
| 宮古 | 1.3 | 73.0 | 156.6 | 31 | 0.4 | 0.9 | 1.9 |
| 酒田 | 2.5 | 98.3 | 83.6 | 37 | 1.6 | 2.1 | 3.1 |
| 山形 | 1.0 | 63.1 | 115.7 | 65 | -0.1 | 0.5 | 1.8 |
| 仙台 | 2.8 | 53.9 | 156.2 | 16 | 1.9 | 2.4 | 3.4 |
| 石巻 | 2.0 | 48.8 | 165.2 | 23 | 1.1 | 1.6 | 2.7 |
| 福島 | 3.0 | 56.3 | 152.4 | 28 | 2.0 | 2.5 | 3.7 |
| 白河 | 1.7 | 49.4 | 158.7 | ----- | 0.7 | 1.1 | 2.4 |
| 小名浜 | 4.7 | 69.9 | 170.4 | 0 | 3.9 | 4.3 | 5.3 |

なお、気温，降水量，日照時間，降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温，降水量，日照時間，降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

| | 気温平年差 () | 降水量平年比(%) | 日照時間平年比(%) | 降雪量平年比(%) |
|--------|-------------|-----------|------------|-----------|
| 東北地方 | -0.7 ～ +0.6 | 82 ～ 110 | 96 ～ 105 | 64 ～ 124 |
| 東北日本海側 | -0.7 ～ +0.6 | 92 ～ 108 | 91 ～ 107 | 73 ～ 130 |
| 東北太平洋側 | -0.6 ～ +0.6 | 73 ～ 117 | 98 ～ 104 | 56 ～ 120 |

（３）この予報期間の 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

| | 1 週目 | 2 週目 | 3 ～ 4 週目 |
|--------|-------------|-------------|-------------|
| 東北地方 | -0.9 ～ +1.0 | -0.8 ～ +0.8 | -0.5 ～ +0.4 |
| 東北日本海側 | -0.9 ～ +0.9 | -0.8 ～ +0.8 | -0.6 ～ +0.5 |
| 東北太平洋側 | -0.9 ～ +1.0 | -0.8 ～ +0.8 | -0.5 ～ +0.4 |

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率 60 % の予報 10 例では、そのうちの 6 回で予報した階級が実際に起こり、4 回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに 33 %）から大きく隔たった確率（10 %や 60 %、70 %など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 15 年 2 月 14 日 仙台管区气象台

1．可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(2 月 15 日～3 月 14 日)：

天気は概ね周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年より晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目(2 月 15 日～2 月 21 日)：

冬型の気圧配置で東北日本海側では曇りや雪の降る日が多いでしょう。東北太平洋側では晴れる日が多いですが、期間の中頃には気圧の谷の影響で曇る日もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目(2 月 22 日～2 月 28 日)：

天気は概ね周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年より晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

3～4 週目(3 月 1 日～3 月 14 日)：

天気は概ね周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年より晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

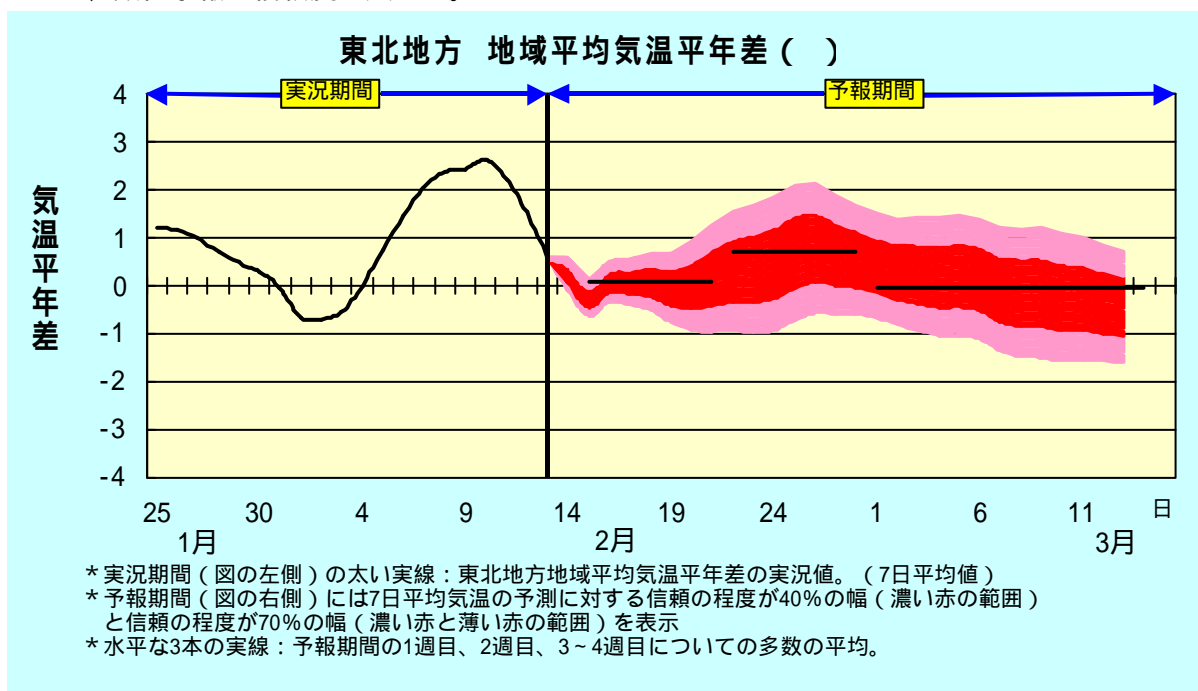
平年の晴れ日数

| | 向こう 28 日間 | 1 週目 | 2 週目 | 3～4 週目 |
|--------|-----------|-------|-------|--------|
| 東北日本海側 | 8.9 日 | 1.7 日 | 1.9 日 | 5.3 日 |
| 東北太平洋側 | 17.7 日 | 4.3 日 | 4.2 日 | 9.2 日 |

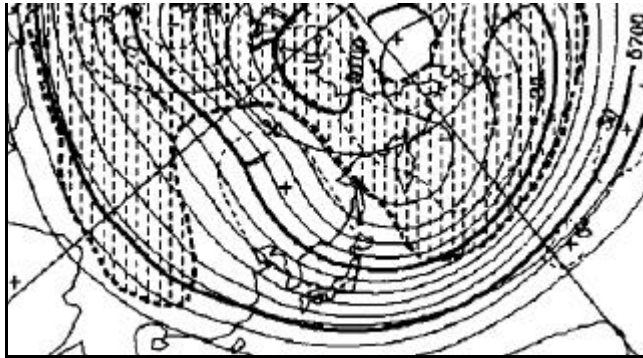
2．東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から 2 週目を「高い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

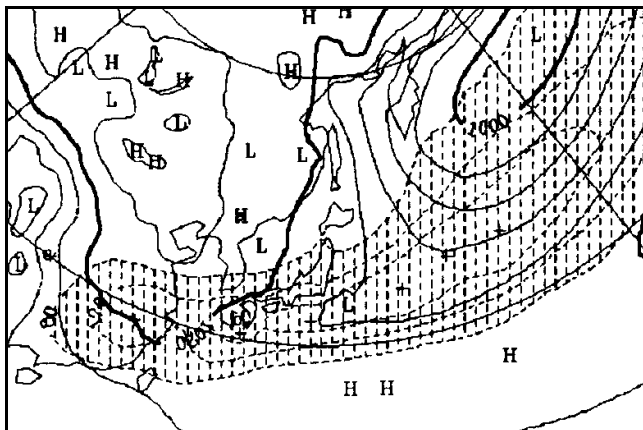


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は大陸に中心を持つ正偏差に覆われる。一方、アリューシャン列島付近や極東の高緯度は負偏差となる。

週別（図略）では、1 週目と 2 週目は大陸に中心を持つ正偏差が日本付近を覆う。一方、日本の東海上は負偏差となる。3～4 週目は、負偏差が極域にまとまる傾向で、日本を含む中緯度帯は正偏差に覆われる。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

地上気圧と降水量

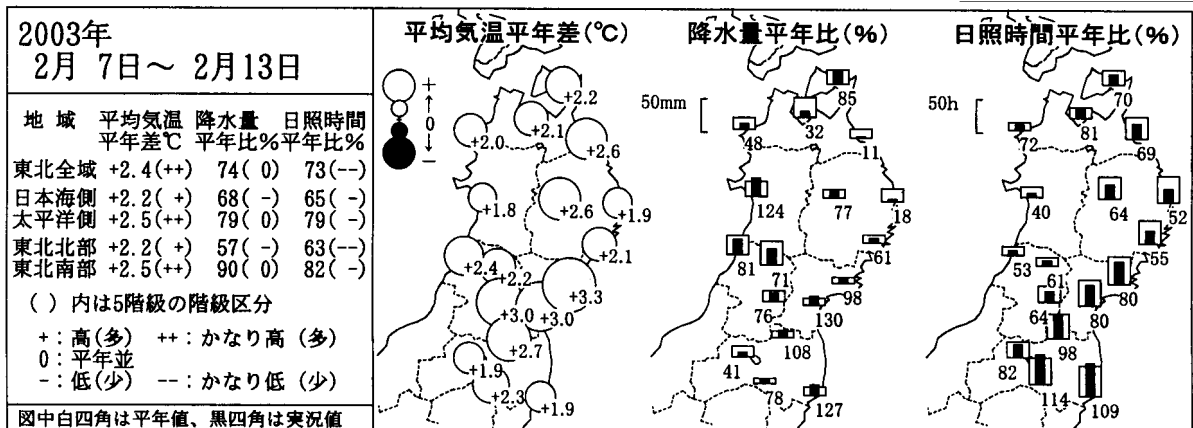
月平均で見ると、平年に比べ日本付近の冬型の気圧配置は弱い。日本の南岸には平年とほぼ同じ位置に低圧部があり、まとまった降水域が予想されるが、東北地方にかかる部分は弱い。

週別（図略）では、1 週目、北日本は冬型の気圧配置。日本の南岸の低圧部が平年より明瞭だが東北地方に降水域はかかっていない。2 週目以降、北日本では等圧線の間隔が広がり、冬型の気圧配置は平年より弱い見込み。

4. 最近 1 週間（2 月 7 日～2 月 13 日）の天候の経過

この期間、前半は、東北北部では低気圧や前線の影響により曇りの日が多く、東南北部では 9 日に雨が降った後は太平洋側を中心に概ね晴れた。また、日本の南を移動する高気圧から暖かい南風が流れ込んだため、気温が高めに経過した。11日に日本の南岸を通る低気圧の影響で各地で雨が降り、その後は冬型の気圧配置となって、東北日本海側は曇りや雪、東北太平洋側は概ね晴れた。

平均気温は東北北部で平年差+2.2 と高く、東南北部で平年差+2.5 とかなり高かった。降水量は、東北北部で平年比57%と少なく、東南北部で平年比90%と平年並だった。日照時間は、東北北部で平年比63%とかなり少なく、東南北部で平年比82%と少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）